

膨脹式救命胴衣の日常点検を実施しましょう！

【首かけタイプ】

ベルトが破損していませんか？



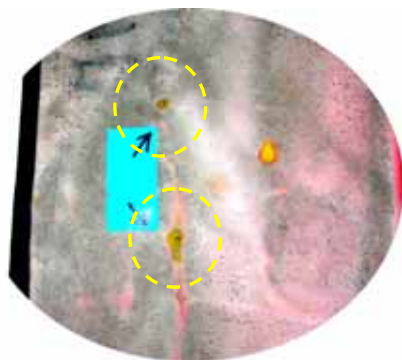
縫製糸がほつれたり、切れたりしていませんか？



ポンペに錆・傷等ありませんか？
部品(スプール)を定期交換していますか？
取り付けが緩んでいませんか？



気室布が破損していませんか？



作動索は引っ張れる状態にありますか？



バックルが破損していませんか？



給気チューブに息を吹き込んで膨脹できますか？



※船名、船舶番号等を書き入れて下さい。

※詳しくはメーカー取扱説明書を参照して下さい。

【ポーチタイプ】



【ベルトタイプ】



中に貝殻等の異物が入っていないか確認してください。
気室布と擦れて、穴が開くことがあります。



点検項目 (首かけ型と共通)

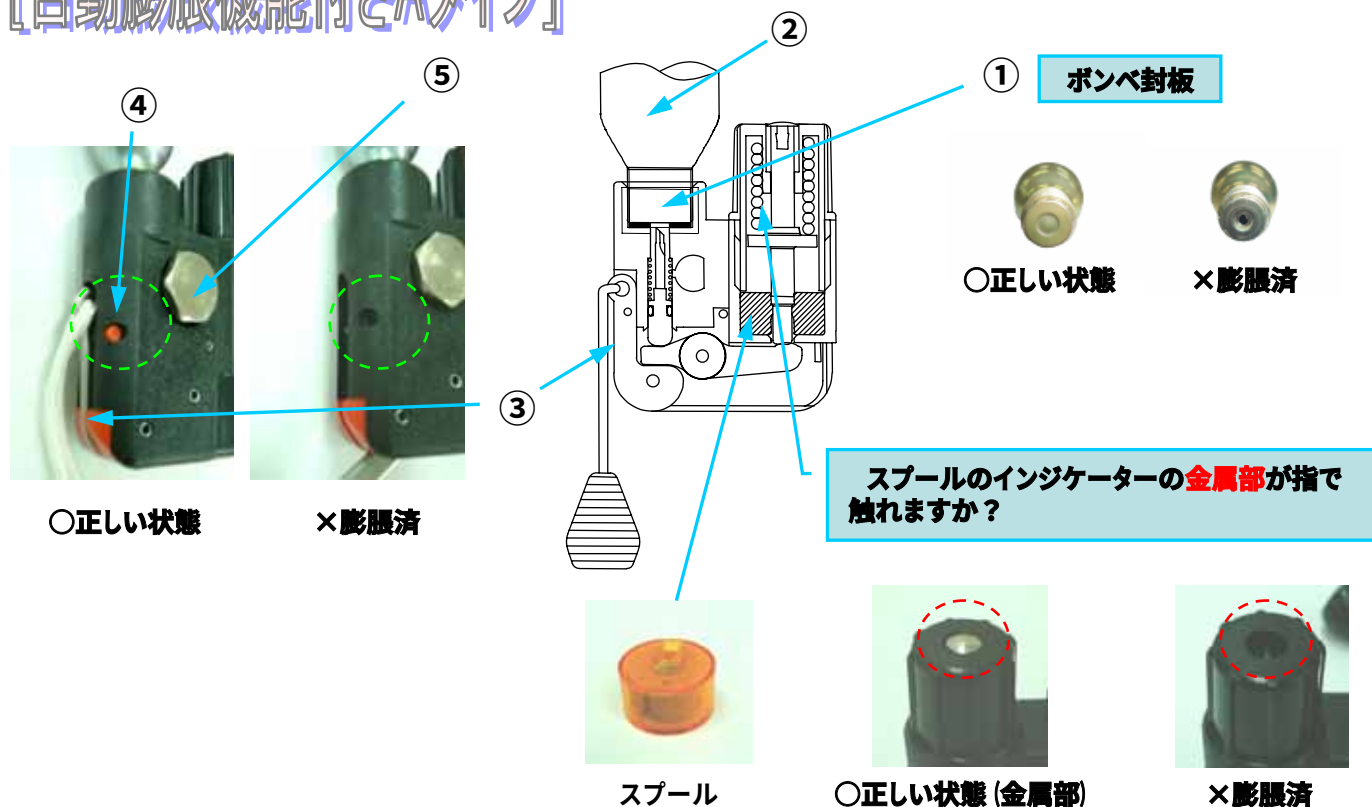
- 気室布が破損していませんか？
- 縫製糸がほつれたり、切れたりしていませんか？
- ベルトが破損していませんか？
- バックルが破損していませんか？
- ボンベに錆・傷等ありませんか？
- 部品(スプール)を定期交換していますか？
- 給気チューブに息を吹き込んで膨張できますか？
- 作動索は引っ張れる状態にありますか？
- 膨脹装置を日常点検していますか？

小型船舶用膨脹式救命胴衣対応型式一覧表 (抜粋)

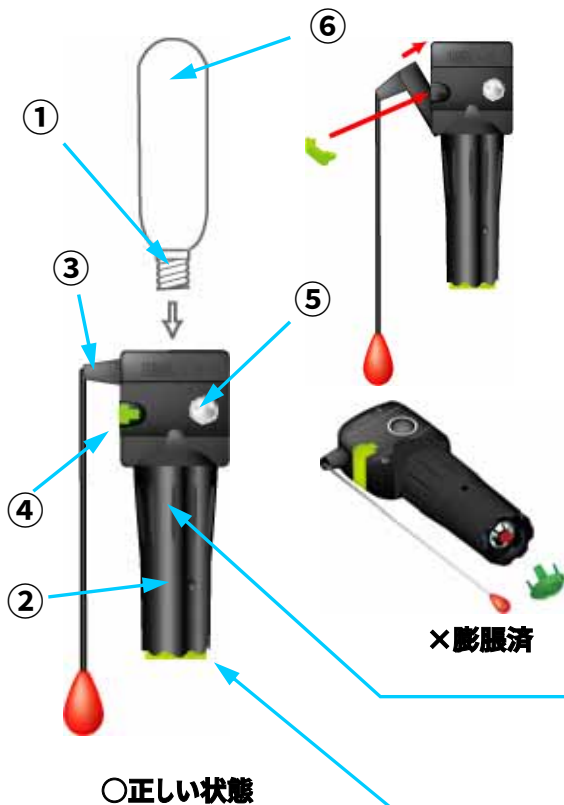
自動膨脹機能付きAタイプ	アキレス	ACH-001
	興亜化工	KK-1、KK-5、KK-12、ライフベルトKK-7
	東洋物産	BJ-2000、BJ-1700、BJ-1800、BJ-1710、YM-101、BJ-1711
	日本救命器具	ベルト型、ズボン内層型、NQV-AT、小児膨脹型
	日本船具	NS-777、NS-555
	藤倉航装	FN-50、FN-60、WP-1、SS-1、SMNN01、SMNW01
自動膨脹機能付きBタイプ	高階救命器具	TK-2000、TK-2003B、TK-2310、TK-3000、YM-005、YM-021、YM-007、EG-02、E/MQ-01B、EXE-2700、NP-028A
自動膨脹機能付きCタイプ	東洋ゴム	TJW-3、TJW-5、TJW-7
	ライフガード工業 (国際化工)	マリンポーチKMP-1A
手動膨脹Aタイプ	興亜化工	KK-3、KK-8
	東洋物産	BJ-1500
	日本救命器具	手動ベルト型、ズボン内層型、NQV-MN型
	日本船具	NS-333、NS-111
	藤倉航装	FN-HA、WP-1H
手動膨脹Bタイプ	高階救命器具	TK-2300、TK-5100、YM-003、YM-006、YM-020、E/MQ-01A、OW-367

自動膨脹装置の日常点検の方法

【自動膨脹機能付きAタイプ】



【自動膨張機能付きBタイプ】



共通点検項目 (自動膨脹機能付きA, B, Cタイプ)

- ①ポンペ封板
ポンペを取り外し、封板に穴が開いていないことを確認しましょう。
- ②スプール
インジケーターの表示を確認すると共に適正な時期に交換しましょう。
- ③手動用レバー
正しい位置にありますか？
- ④安全ロックピン
正しく取り付けられているか確認しましょう（正しい状態の写真参考）。手動用レバーを作動させたものについては、新品の安全ロックピンと交換しましょう。
- ⑤固定ボルト
ボルトに緩みが無いか確認しましょう。
- ⑥ガスポンペ
ガスポンペをねじ込み、ゆるみが無いか確認しましょう。

(注意) ボンベを取り付けた後、作動索を引っ張ったり、手動用レバーを正しい位置から動かさないで下さい。救命胴衣が膨脹する恐れがあります。

カートリッジ
カートリッジの緩みが無いか確認しましょう。

スプールのインジケーター
シールピンが付いていますか？
緑のシールピンが外れ、**赤いバルブ**が見えている場合は使用を中止し、カートリッジを新しいものに交換して下さい。

【自律神経機能付きCタイプ】



スプールのインジケータ
インジケータ小窓の表示は透明ですか？
インジケータ小窓が**赤色**及びマガジンから**赤色の突起物**が出ていれば使用を中止し、マガジンを交換して下さい。



○正しい状態 (小窓)



○正しい状態 (マガジン)



×膨脹済



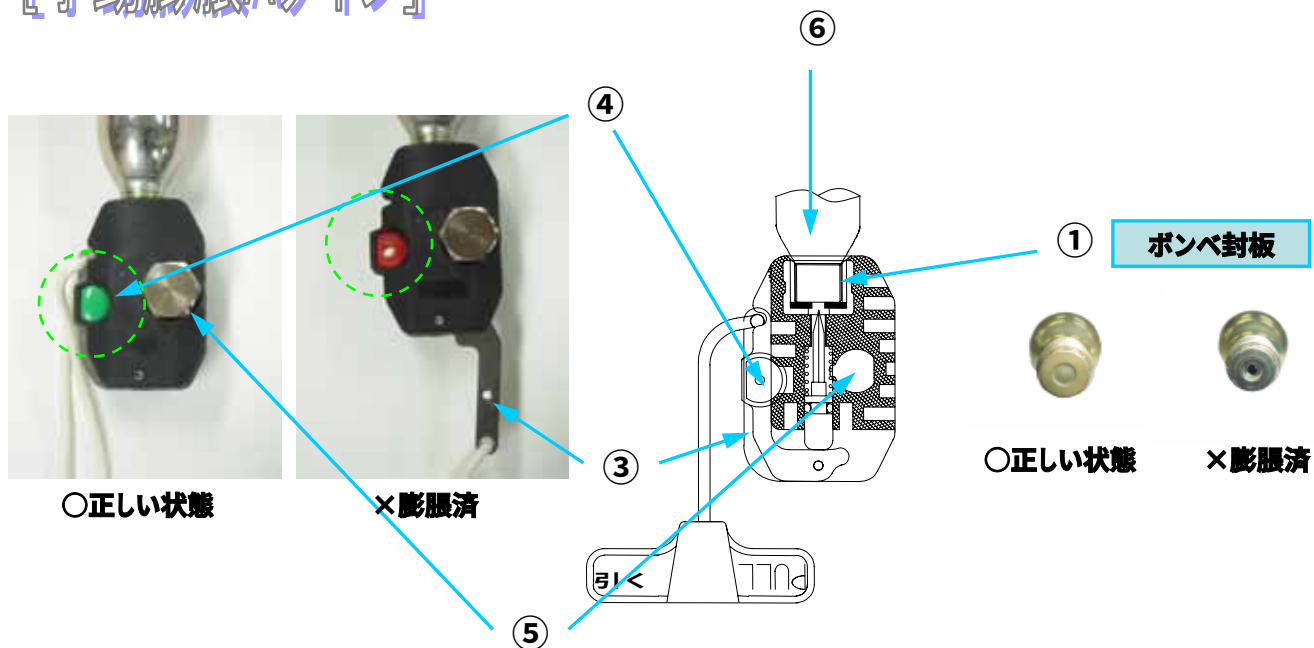
×膨脹済



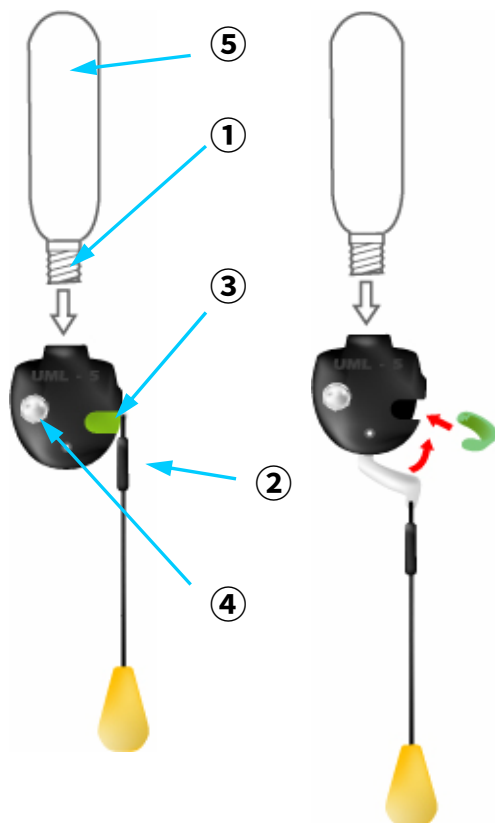
×膨脹済

手動 膨脹装置の日常点検の方法

【手動膨脹Aタイプ】



【手動膨脹Bタイプ】



共通点検項目 (手動膨脹A, Bタイプ)

- ①ポンペ封板
ポンペを取り外し、封板に穴が開いていないことを確認しましょう。
- ②手動用レバー
正しい位置にありますか？
- ③安全ロックピン
正しく取り付けられているか確認しましょう（正しい状態の写真参照）。膨脹済のものについては、新品の安全ロックピンと交換しましょう。
- ④固定ボルト
ボルトに緩みがないか確認しましょう。
- ⑤ガスポンペ
ガスポンペをねじ込み、ゆるみがないか確認しましょう。

(注意) ポンペを取り付けた後、作動索を引っ張ったり、手動用レバーを正しい位置から動かさないで下さい。救命胴衣が膨脹する恐れがあります。